

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 明治時代

名前

得点

/8

問1 伊藤博文が1900年に立憲政友会を創設した理由として、当時の政治的背景を踏まえた説明として正しいものはどれか。（2022年

岐阜公立入試 類似）

- 議会で多数の議席を持つ政党と協力しなければ、予算案や法案の成立が困難であると判断したため。
- 自由民権運動を弾圧するために、軍部を中心とした秘密結社を作る必要があったため。
- 天皇の権限を縮小させ、イギリスのような完全な議院内閣制を即座に導入しようとしたため。
- 藩閥政治を維持するために、民間の政治団体をすべて解散させて一つの政党に統合するため。

問2 19世紀後半のヨーロッパでは、産業革命によって経済が大きく発展した一方で、資本家と労働者の間の深刻な貧富の格差が社会問題となりました。このような資本主義の構造を批判し、土地や工場などの生産手段を社会全体で共有することで、搾取のない平等な社会を実現しようと提唱したドイツの思想家は誰ですか。（2023年 大阪公立入試 類似）

- マルクス
- アダム・スミス
- モンテスキュー
- ルソー

問3 明治政府が欧米の制度や文化を調査するために派遣した岩倉使節団には、わずか6歳で最年少の女子留学生として同行した人物がいました。のちに女子英学塾（現在の津田塾大学）を創設し、日本の女子教育の発展に尽力したこの人物は誰ですか。

（2024年 徳島公立入試 類似）

- 津田梅子
- 樋口一葉
- 与謝野晶子
- 平塚らいてう

問4 岩倉使節団の記録において、欧米の文明に強い感銘を受けた人物として描かれ、後に初代内閣総理大臣となった人物は、1900年に政党を組織して初代総裁となりました。この人物が、議会を安定して運営するために結成した政党の名称を選びなさい。

（2024年 秋田県公立入試 類似）

- 立憲政友会
- 自由党
- 立憲改進黨
- 日本社会党

問5 明治時代後半、黒田清隆などの有力な政治家が内閣総理大臣の選定に関与していた仕組みについて、当時の実態を正しく説明しているものはどれですか。（2025年 愛知公立入試 類似）

- 衆議院の選挙で第一党となった政党の党首が、自動的に総理大臣に指名されていた。
- 衆議院と貴族院の全議員による投票を行い、最多得票者が天皇によって任命されていた。
- 憲法には規定がないが、有力な政治家が相談して決めた候補者を天皇に推薦していた。
- 国民による直接投票が実施され、その結果を受けて有力な政治家が天皇に報告していた。

問6 1883年に渋沢栄一らによって設立され、蒸気機関による大規模な機械化を実現したことで、日本の産業革命を牽引した企業を選択肢の中から選びなさい。この企業の成功により、1891年には国内の綿糸の生産量が輸入量を上回る結果となりました。

（2024年 愛知公立入試 類似）

- 大阪紡績会社
- 富岡製糸場
- 八幡製鉄所
- 三菱長崎造船所

問7 明治時代の日本における産業革命の進展過程について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年

茨城県公立入試 類似）

- 日清戦争の前後に製糸業や紡績業などの軽工業が発展し、その後、1901年の八幡製鉄所の操業開始などを経て重工業へと発展した。
- 明治初期から政府主導で八幡製鉄所などの重工業がまず確立され、その後に製糸業などの軽工業が民間へ普及した。
- 欧米諸国からの技術導入により、当初から自動車産業や電機産業などの重化学工業が産業の中心を担った。
- 高度経済成長期に軽工業から重工業への転換が始まり、その象徴として1901年に官営の工場が各地に建設された。

問8 明治時代の作家・夏目漱石の小説において、日本を「カエル」、イギリスなどの西洋列強を「牛」に例え、無理をして牛の真似をして体を膨らませると腹が裂けてしまうと、日本の危うい現状を風刺した描写があります。この比喩が示している当時の社会状況として、最も適切なものはどれですか。（2024年 山口公立入試 類似）

- 欧米諸国に追いつくために急激な近代化や軍備拡大を強行した結果、国家財政や国民生活に過度な負担がかかっていた状況。
- 清との戦争に勝利したことで多額の賠償金を得て、国民の生活が欧米諸国を凌ぐほど豊かになった状況。
- 文明開化によって西洋の文化が急速に広まり、伝統的な日本文化が完全に消失してしまった社会の混乱。
- 地租改正によって土地の所有権が認められたことで、農民の誰もが経済的なゆとりを持ち、一等国の国民としての自覚が高まった状況。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 議会で多数の議席を持つ政党と協力しなければ、予算案や法案の成立が困難であると判断したため。	それまでの政府は政党の動向に左右されない「超然主義」を掲げていましたが、議会で政党勢力が力を強める中で、政府の方針をスムーズに実行するためには政府自らが政党を組織し、多数派を形成する必要があると考えました。
問2	<b>答え 1</b> マルクス	産業革命後のイギリスなどで見られた、労働者の低賃金や劣悪な労働環境といった資本主義の矛盾を解決しようとしたのが社会主義思想です。マルクスは、資本家が独占していた「生産手段（土地・工場など）」を社会の共有財産に変えることで、平等な社会を築けると考え、後の世界の政治や経済に多大な影響を与えました。
問3	<b>答え 1</b> 津田梅子	岩倉使節団は、不平等条約の改正に向けた予備交渉や、欧米の先進的な制度・技術の視察を目的として1871年に派遣されました。この使節団には、日本の将来を担う人材を育成するために女子留学生も同行しており、その中で最年少だったのが津田梅子です。彼女はアメリカで長期間学び、帰国後は女性の地位向上と自立を目指し、英語教育を軸とした高度な女子教育の普及に貢献しました。
問4	<b>答え 1</b> 立憲政友会	当初、伊藤博文は政党が政治に介入することを嫌う「超然主義」の立場をとっていましたが、議会での法案成立をスムーズに進めるためには政党の協力が不可欠であると考えようになり、官僚や旧自由党のメンバーを糾合して立憲政友会を結成しました。
問5	<b>答え 3</b> 憲法には規定がないが、有力な政治家が相談して決めた候補者を天皇に推薦していた。	大日本帝国憲法には内閣総理大臣をどのように選ぶかという規定が存在しなかったため、実際には「元老」と呼ばれる一部の実力者が相談して後継者を決め、天皇に推薦する（奏上する）という形がとられていました。そのため、初期の議会政治においては、衆議院の多数派とは無関係に総理大臣が決まることが一般的でした。黒田清隆が天皇に後継者を推薦した1896年の事例などは、まさにこの仕組みを象徴しています。
問6	<b>答え 1</b> 大阪紡績会社	渋沢栄一らが設立した大阪紡績会社は、日本で初めて蒸気機関を用いた大規模な機械紡績を成功させ、夜間操業などによって生産性を飛躍的に高めました。この企業の成功をモデルとして多くの民間紡績会社が設立された結果、1891年に綿糸の国内生産量が輸入量を上回り、日本の工業化が大きく前進することとなりました。
問7	<b>答え 1</b> 日清戦争の前後に製糸業や紡績業などの軽工業が発展し、その後、1901年の八幡製鉄所の操業開始などを経て重工業へと発展した。	日本の産業革命は、まず外貨獲得の手段として生糸や綿糸を生産する製糸業・紡績業といった軽工業から始まりました。日清戦争（1894年～）を前後してこれらの産業が確立され、その後、日露戦争（1904年～）に備える形で鉄鋼などの重工業へと重点が移っていきました。1901年の八幡製鉄所の操業はその象徴的な出来事です。
問8	<b>答え 1</b> 欧米諸国に追いつくために急激な近代化や軍備拡大を強行した結果、国家財政や国民生活に過度な負担がかかっていた状況。	夏目漱石は、当時の日本が自国の実力に見合わないスピードで西洋化・軍事化を進めていることを、カエルが無理をして牛になろうとする姿に例えて批判的に描きました。日清・日露戦争を経て国際的な地位は向上しましたが、その裏では増税や徴兵が続き、国民の生活は疲弊していました。この問題文にある比喻は、一等国を目指す華々しい側面だけでなく、その歪みが生じていた当時の社会背景を鋭く指摘したものです。